

平成21年度 事務事業評価シート（平成20年度実績分）

事務事業名	林道舗装事業			部課コード	2703	予算事業科目	010602020184	事	複	区分	継続
所管部署	担当部局	農林水産部	部局長名（2次評価者）	田村 年生	個別事務	全部	010602020184	-			
	担当部署	森林政策課	所属長名（1次評価者）	小嶋 正知		全部	010602020193	-			
	電話番号	088-896-2003	E-mail	kc-270300@city.kochi.lg.jp				-			

1 事業の位置付け

予算科目（平成20年度）	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計 01 一般会計	目標 01 A 新しい価値を創造発信する都市	政策基本方針	生産性の向上や後継者の育成など経営基盤の強化を図るとともに、自然と共存し、都市と調和する農林漁業の振興を図ります。		
款 06 農林水産業費	政策 05 都市と調和した農林漁業の振興				
項 02 林業費	施策 05 林業基盤整備				
目 02 林業振興費	区分 01 林業振興事業				

2 事業の根拠

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等	高知県電源立地地域対策交付金交付要綱	
市条例・規則・要綱等		
その他（計画、覚書等）	高知市過疎地域自立促進計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市民
意図	どのような状態にしていけるのか	木材の搬出等森林施業の効率化を図る。また、舗装により降雨からの侵食を防ぎ防災機能を向上させる。
手段	事業実施体制等	平成18年度・平成20年度：工事=請負, その他(測量, 施工管理)=直営 平成19年度：工事=請負, その他(測量, 施工管理)=業務委託
		事業開始年度 平成18年度 事業終了年度 -
活動内容	どのような事業活動を行うのか	林道の舗装工事
成果指標	事業目的の成果を測る指標	
	A	未舗装延長に対する施工延長
	B	林道における未舗装の延長に対し、当該年度に舗装工事を行った延長
	C	

4 事業の実績等

				18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(計画)	備考欄
成果指標	A	未舗装延長に対する施工延長	目標	10,422	8,932	9,981	8,636	
			実績	1,623	1,394	1,120		
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
			実績					
投入コスト	① 事業費	財源内訳	決算額 (千円)	34,499	29,308	29,995	24,500	※平成20年度は、臨時職員3カ月分の賃金を含む
			国費 (千円)	4,499	4,468	4,495		※平成21年度は、当初予算額
			県費 (千円)					※平成21年度は、臨時職員4カ月分の賃金を含む
			市債 (千円)	28,400	24,840	25,500		
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	1,600	0	0		
		翌年度への繰越額 (千円)						
	② 概算人件費等	人件費等	(千円)	1,950	1,950	1,950		
			正規職員 (千円)	1,950	1,950	1,950		
			その他 (千円)					
		人役数	(人)	0.26	0.26	0.26		
			正規職員 (人)	0.26	0.26	0.26		
			その他 (人)					
	総コスト＝ ① ＋ ② (千円)		36,449	31,258	31,945			
	市民1人当たりコスト (円)		111	92	94		総コスト/年度末人口	
	年度末住民基本台帳人数 (人)		327,310	341,544	340,695			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

山村の生活道・連絡道としての機能及び森林整備等を促進していくための基盤整備として、林道の整備は重要であるため、十分な財源を確保していくことが必要であると考えられる。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 21 年 8 月 26 日）

評価項目			評価基準		1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の 必要性	①	〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5)	結びつく	A	4.0	森林整備の効率化のためには、林道整備が必要である。
			B (3)	一部結びつく			
			C (1)	あまり結びつかない			
			D (0)	結びつかない			
	②	〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5)	非常に多い、急増している	B		
			B (3)	横ばいである			
			C (1)	少ない、減少している			
			D (0)	ほとんどない			
事業内容の 有効性	③	〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5)	十分に達成している	B	4.0	通行の安全性及び路面の侵食等を防ぎ防災機能を向上させるために、舗装工事は有効な手法である。
			B (3)	概ね達成している			
			C (1)	あまり順調ではない			
			D (0)	十分な成果を望めない			
	④	〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5)	妥当である	A		
			B (3)	概ね妥当である			
			C (1)	検討の余地がある			
			D (0)	見直しが必要である			
事業実施の 効率性	⑤	〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5)	実施済・できない	B	3.0	国・県の制度が多岐に渡っており、その状況を踏まえて計画を立てているため、アウトソーシングには、適さない。
			B (3)	行政主体が望ましい			
			C (1)	検討の余地はある			
			D (0)	十分可能である			
	⑥	〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5)	現状が望ましい・できない	B		
			B (3)	概ね効率的にできている			
			C (1)	検討の余地がある			
			D (0)	十分可能である			
事業実施の 公平性	⑦	〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5)	極めて公平性が高い	B	3.0	林道は、森林施業及び地域の連絡道としての基盤であり、また里山への進入路として広く活用できる。
			B (3)	概ね保たれている			
			C (1)	偏っている			
			D (0)	公平性を欠いている			
	⑧	〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5)	適正な負担割合である	B		
			B (3)	概ね適正な負担割合である			
			C (1)	検討の余地がある			
			D (0)	検討すべきである			
総合点	14.0	総合評価	A 事業継続（総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）				
			○ B 経費削減に努め事業継続（総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）				
			C 事業縮小・再構築の検討（総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合）				
			D 事業廃止・凍結の検討（総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）				

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 9 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	森林整備においては、多面的機能の確保・向上が求められている中、林道の整備は必須であり、継続的に整備していくことが望ましい。
○ B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項